

町の取組や出来事を紹介！

みやぎプラス No.1



「水害対策にかける想い」

町長 岡毅

現在のみやき町民の一番の関心事は、やはり水害対策です。町では、横断的な連携ができるよう、令和4年4月に「災害(水害)対策プロジェクトチーム」を発足させ、関係課が専門知識を持ち寄り、対策を考えています。

さて、本町の水害はどうして起きているのでしょうか？通常、町内を流れる支流の水は筑後川本流へ流れ込みます。大雨により本流が増水した場合は、支流の出口にある水門を閉めます。開けたままでは増えた水が本流から支流に逆流するからです。水門が閉まると、支流の水を減らす手段として、水門に設置している排水機場のポンプで本流に排水するしかありません。つまり、排水ポンプの能力以上の雨が降れば、徐々に支流の水位が上がり、道路冠水や床下・床上浸水が発生するという構造です。

本町では、これらに対応するため、令和5年度から調査業務を行う予定です。令和5年度は北茂安校区南部を行い、三根東地区、三根西地区と年次計画で進めていき、水害被害を軽減させる有効な手段について、専門的な視点で、結論を出したいと考えています。調査により、国や県に対してより具体的な工事業やポンプの増設などの要望ができるようになります。その他、町民のみな様のご協力のもと、田んぼダムや幹線水路の事前排水なども同時並行で取り組み、本町の水害対策にかける想いを行動に移してまいります。よろしく願っています。